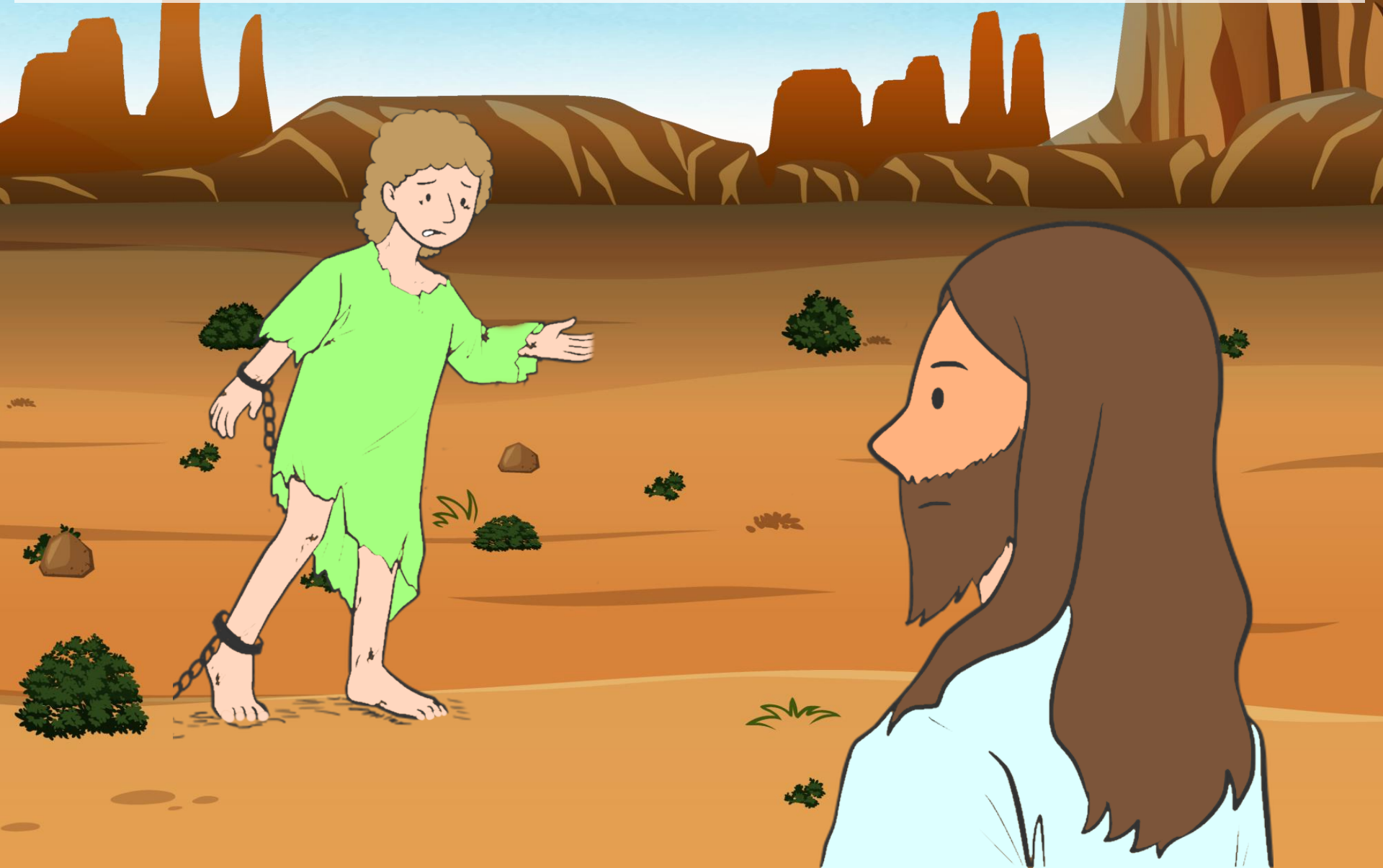


イエス、悪霊を追い出す

イエスとその弟子たちは湖を渡り、向こう岸のゲラサ人の地に着きました。イエスが小舟をおりる間もなく、悪霊に取りつかれた男が墓場から走って来て、イエスを迎えました。

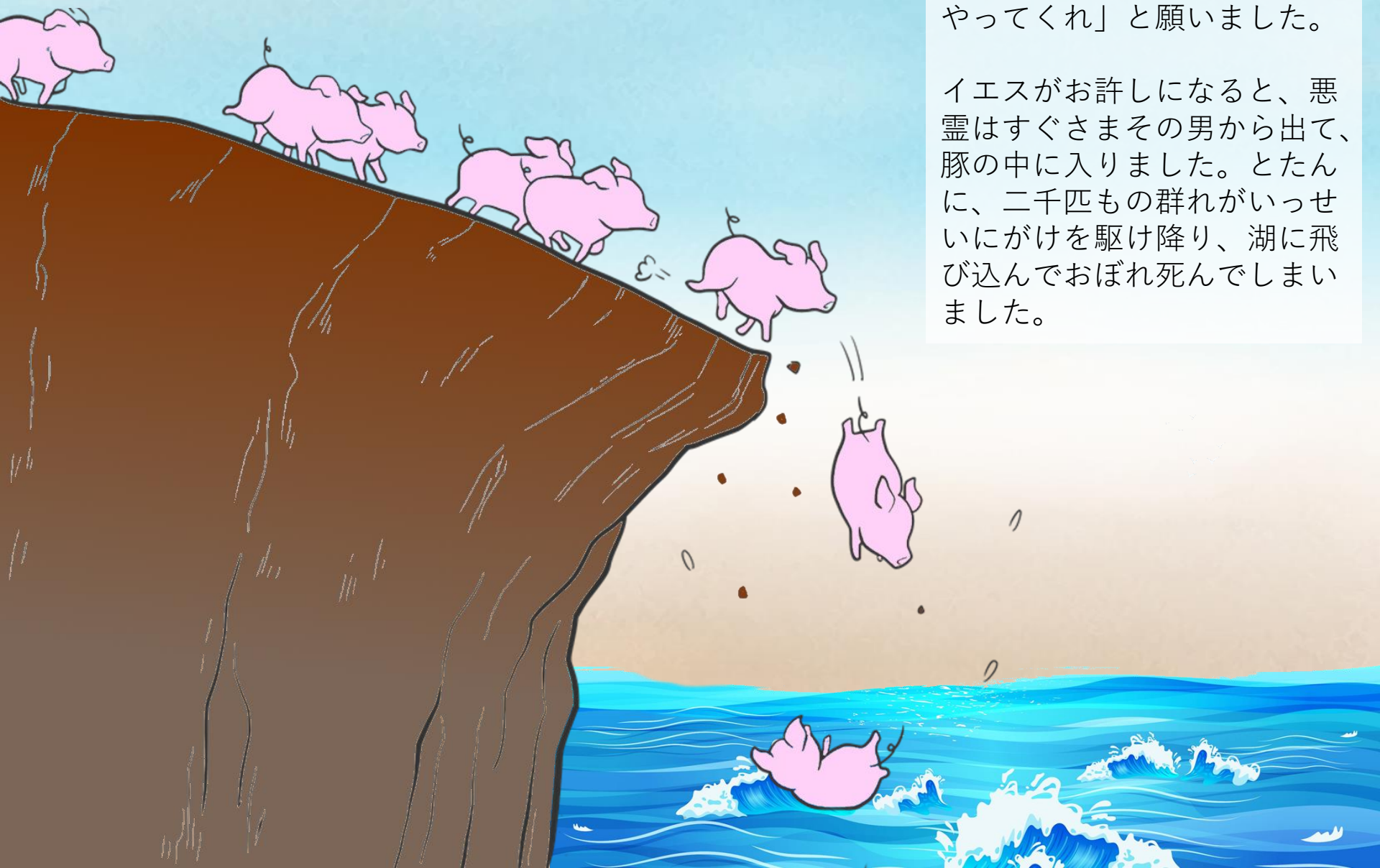


この男は、イエスがまだ遠く湖上におられる時からその姿を認め、走り寄って来てイエスの前まで来ると、いきなり地にひれ伏しました。

その時です。イエスは男に取りついている悪霊に、「悪霊よ、出て行きなさい」とお命じになりました。すると悪霊は、ぞっとするような声で、「おれを、どうしようというんだ。頼むから、苦しめないでくれ！ いと高き神の子、イエスよ」とわめきたてました。

イエスが「おまえの名前は？」と聞くと、「レギオン（ローマの軍隊の一軍団）だ。おれたちは大ぜいでこの男に取りついているのだ」と、悪霊は答えました。それから、自分たちを遠方へ追い払わないでほしいと、しきりに頼み続けました。





その時、湖畔に沿った丘の上で、豚の大群がえさをあさっていました。悪霊どもは、「おれたちをあの豚の中へやってくれ」と願いました。

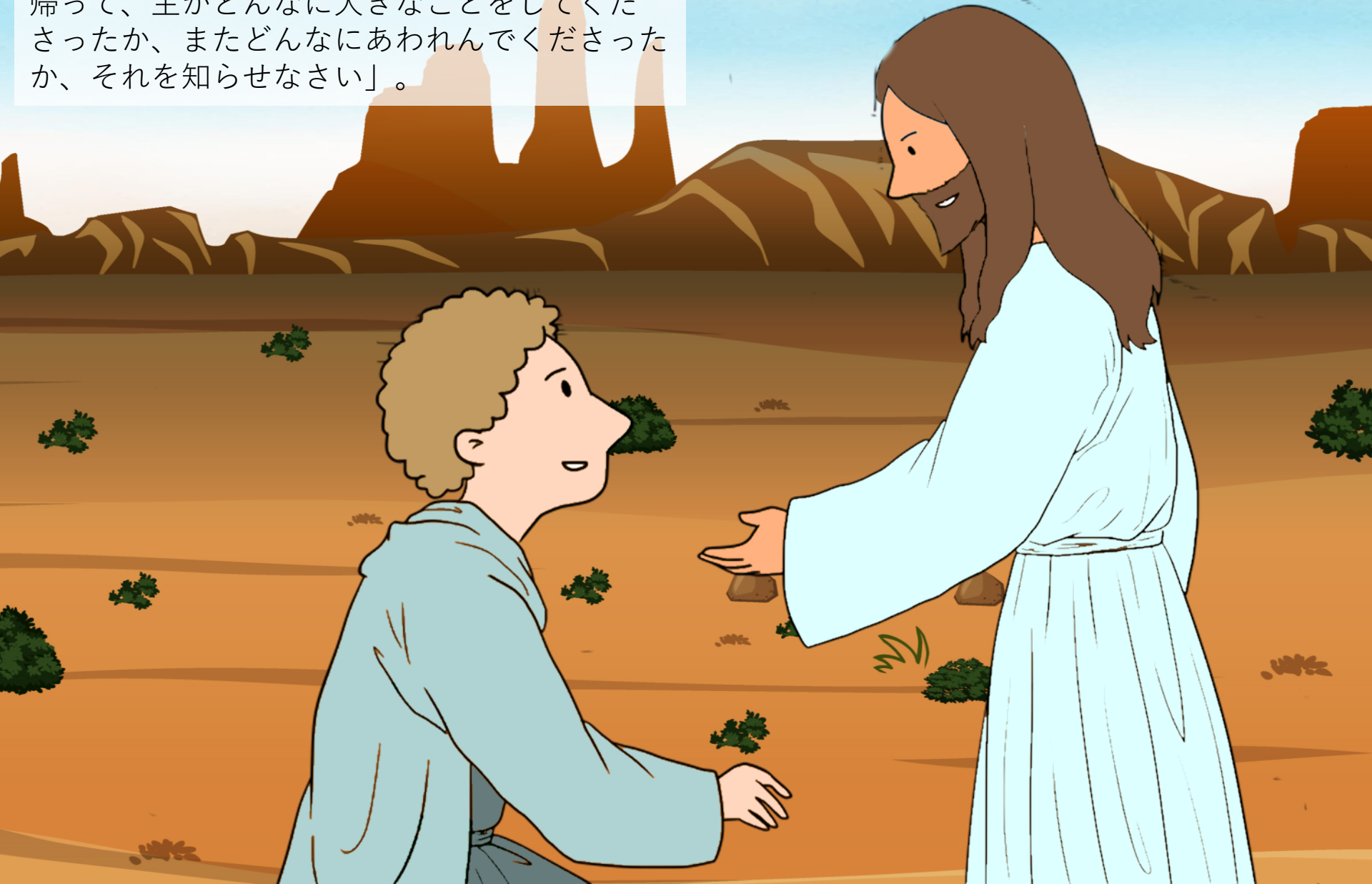
イエスがお許しになると、悪霊はすぐさまその男から出て、豚の中に入りました。とたんに、二千匹もの群れがいっせいにがけを駆け降り、湖に飛び込んでおぼれ死んでしまいました。

豚飼いたちは近くの町や村に逃げて行き、この出来事をふれ回りました。人々は自分の目で確かめようと、ぞろぞろと出かけて来ました。たちまちイエスの回りは黒山の人だかりとなり、しかも、うわさの男は、服を着て、すっかり正気に戻って座っているではありませんか。人々は恐ろしくなりました。

初めからこの出来事を目撃していた人たちが、みんなに一部始終を説明しました。それを聞くと、人々はイエスに、かかわりあいになりたくないから、どこかへ行ってほしいと願い始めたのです。



イエスが舟に乗ろうとされると、悪霊につかれていた人がお供をしたいと願い出た。しかし、イエス彼に言われた、「あなたの家族のもとに帰って、主がどんなに大きなことをしてくださったか、またどんなにあわれんでくださったか、それを知らせなさい」。



男はさっそくデカポリス地方を回り、イエスがどんなに素晴らしいことをしてくださったかを知らせました。その話を聞いた人々はみな驚きました。



www.freekidstories.org

Background images designed by brgfx via Freepik, macrovector via Freepik and kjpargeter via Freepik.

Foreground images adapted from Pixabay

Text from the Bible, Mark 5:1-20